

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力为上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月16日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇都宮市	代表者名	佐藤 栄一		
担当者部署	経営管理課	連絡先電話番号	028-632-2093		
担当者役職	係長	担当者氏名	福富 隆史	連絡先E-mail	
住所	320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松崎 太亮
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">・助言支援にあたり、本市の取組状況を予め綿密にリサーチのうえ、現状を的確にとらえた御意見をいただくことができた・ハルセロナなど海外の事例等も踏まえながら、目指すべき姿を明確に提示していただいた。・当方の質問に対し、わかりやすく回答・解説いただいた。・本市が策定中のビジョン・タスクに反映すべき意見をいただくことができ、直後の庁内会議において、同意見を踏まえた事項を盛り込むことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年11月18日	支援・助言	有	令和4年11月14日	M538
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年11月14日	支援・助言	10時00分	12時00分	0
			活動時間（分）	120	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">・現在策定中のビジョン・タスクについて、どのようにまとめ、どのようなつくりにすることで、行政をはじめ地域一体となったDXの実現を図ることができるか・本市の現状や国の動向等を踏まえた、進展の速いデジタル分野の課題の捉え方が的確であるか	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">・現在策定中のビジョン・タスクが、市民・地域団体・事業者と共有できるようなものとなること・DXを実現するために必要な理念や行動規範が適切に設定されたものとなること・施策事業の内容やKPIの設定が適切なものとなっていること	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">・本市のこれまでの取組状況や目指すべき姿を踏まえたうえで、現在策定中の本市のビジョン・タスク（素案）に対する意見をいただいた・具体的には、本市の強みを生かし、ビジョン・タスクに反映すべきである旨や、海外の取組状況や神戸市での取組状況を踏まえて、ビジョン・タスクで目指す方向性やレベルを明確にすべきとの助言をいただいた・KPIの設定については、smartcityインディケーターについて紹介・解説をいただいた	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティインディケータやイノベーター理論の紹介・解説をうけるとともに、海外他都市のKPIの設定方法や市民等への見せ方について事例紹介があり、本市タスクの指標設定や資料での表記方法への反映を行うことができた。 ・また、裾野を広げるための人材育成の重要性やオープンデータ活用の視点等についてアドバイスがあり、今後、本市が取り組むべき事項について課題を提起していただいた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次世代人材育成(教育)の観点の取組を強化・強調すべきとの御意見があったが、現時点の施策事業では、国のGIGAスクールの推進や、デジタルデバイド対策に内容がとどまっていることから、御意見のあった取組を推進するために所管課と調整等を図る必要がある	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回は策定担当者(DX推進部門)が直接支援を受けたところであり、アドバイザーの評価のためのアンケートは必要なかったから</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	ビジョン・タスクの策定に係る助言・支援であり、予算執行というよりは、進行管理が中心となる。令和5年2月のビジョン・タスク策定に向け、引き続き、庁内外の関係者との協議・調整を進める。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



